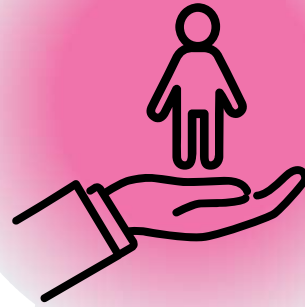


増加の一途をたどる介護

人生100年時代では誰でも介護の可能性がります。
対策は元気なうちに準備しておきましょう。お気軽にご相談ください！



介護保険制度が2000年に始まり20年余り経過してはいますが、その間に対象となる高齢者（第1号被保険者）の数は1.1倍となり、要介護要支援認定者は3倍に増加すると聞きます。

増加する要介護認定者の中心は要介護1以下の軽度認定者だそうで、原因のトップは認知症です。中でもアルツハイマー型認知症が認知症患者全体の7割を占めています。

今年1月に厚労省へ申請された新薬（レカネマブ）は従来の対処療法ではなく、根治治療に役立つのではないかと大変期待されています。

「物忘れがひどくなってき

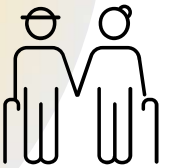
たな」と思っても、すぐに認知症を疑い病院へ行くケースは少ないと思いますが、新しい治療薬が広く使われるようになれば診断を受ける必要があるため、薬を使いたいという理由から認定者がさらに増加することも考えられます。

金融の事に目を向けますと、認知症になってしまうと銀行口座の凍結や資産凍結となります。その対策としては①成年後見制度②信託③保険、の大きく分けて3つですが、その中でも保険は指定代理請求などで代理人の口座へ振り込みができるため流動性も高く、いま改めてその活用方法が注目されています。

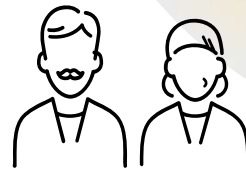
介護にまつわる数字あれこれ

要介護認定増加数
平成12年4月
⇒令和4年
要支援・要介護認定者
3.99倍に

介護が必要となった主な要因
第1位 認知症
第2位 脳血管疾患
第3位 高齢による衰弱



2025年の認知症の高齢者予測
約700万人（20%）



高齢者の単身・夫婦のみ世帯の増加
世帯主65才以上の単身・夫婦のみ世帯
2020年 25.4%
↓
2040年 31.2%

編集後記

今夏の旅行は「海外」という選択肢も広がっているようで、バスボートの申請には連日多くの方が訪れていると報道されています。

当社にも「海外旅行保険」の依頼が増えてきております。旅行の日程が決まっておりますら、プランニングさせていただけますので、ぜひご相談ください。

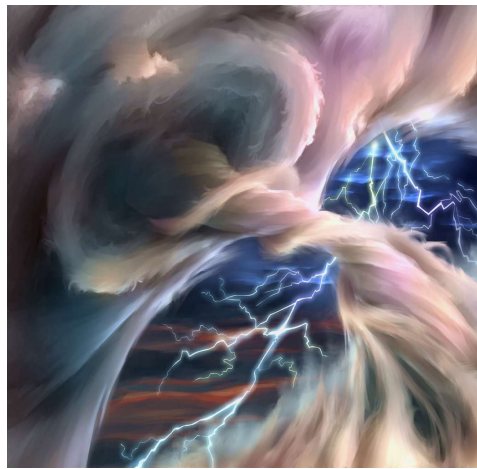
また毎年お伝えしていただいておりますが、お盆休みはいただきます。スタッフは交代で夏休みをいただきます。随時誰かは出社しておりますのでご安心ください。



やぶやぶにゆうす

火災保険料 来年も値上げ予定

毎年のように自然災害が大きくなり、それに伴う家屋等の風水災の被害も大きくなっています。そこで、損害保険各社が加盟する損害保険料



編集・発行：
株式会社大数保険
コンサルタント
代表取締役
大数邦嗣
〒167-0032
東京都杉並区
天沼3-2-6-2F
TEL
03-3392-6765
FAX
03-3392-6793
mail
office@yabuyabu.com
https://www.yabuyabu.com/



率機構が、近く保険料の基準となる「参考純率」を全国平均で1.2%程度引上げる方向となりました。この引上げ幅は過去最大で、6月に金融庁に届け出を出す予定です。損害保険各社はこの参考純率を基に人件費などの経費を考慮し、契約者が支払う保険料に反映させ、2024年度から2025年度までの間に値上げが予定されています。2022年度も引上げられており、2年ぶりとなる10月の東日本中心の台風19号での約6,000億円の支払いや同年の9月の関東の保険料に反映させる見通し

道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日から全体的にヘルメットの着用が努力義務化されました。罰則があるとかないとかでなく、ご自分の身を守るために、ヘルメットの着用を安全運転をお勧めします。

警視庁によると、自転車の交通事故で亡くなった方の6割が頭部に致命傷を負っています。脳は皮膚と頭蓋骨など

に囲まれて一見固いガードがあると思われがちですが、しかし、頭蓋骨に損傷がなくても脳に刺激があっただけで、髄液の破損や脳の損傷に繋がる恐れがあります。

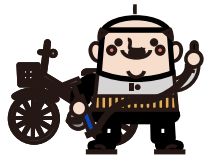
暑い時期を迎えますが、ご自分の身を守るためにしっかりとヘルメットの着用を意識して下さい。

一方で、自転車加害者になる賠償事故が増えています。

中心の強風での台風15号約4,700億円の支払いが考慮されています。しかし、昨年の9月の九州を横断し、新潟に再上陸した台風14号の被害予想額約1,000億円は今回の値上げには反映されていませんので、今後も火災保険料の値上がりは続くものと思われる。一方で、相変わらず財物損壊の被害者への「保険対応できます」との口

す。かつて神戸地裁で加害者に9,500万円の高額な賠償額を負わせた事故がありました。弊社の契約者でも坂道で自転車のブレーキが効かず歩行中のご婦人に追突して、負傷させた事故がありまして、この事故では入院治療費、後遺症で1,000万円を支払いました。事故の多くは一方的ではなく、出会い頭や蛇行運転などの双方に過失がある事故です。携帯電話使用中は自転車側の過失が大きくなる例もあります。この場合の過失割合を含めた示談交渉も含めている廉価な賠償保険も手当てするべきだと思います。自転車に乗る方が家族に複数の場合は家族交通傷害保険に個人賠償保険をセットすることを提案致します。

自転車でのヘルメット着用が努力義務に



「今さら聞けない…インボイス制度ってなんですか？」

仕入税額控除の仕組み

支払消費税額 = 売上時受取消費税 - 仕入時支払消費税
 Bの支払消費税 40円 = 80円 - 40円



A

仕入代金支払
 代金 500円
 消費税 40円
 計 540円



B

売上代金支払
 代金 1000円
 消費税 80円
 計 1080円



本年10月以降は…

1 : Aが課税事業者の場合

⇒ Bは従来通り支払消費税を納税額から引くことができる

この際、仕入事業者 (A) は適切に消費税を納めて

いることを証明するために請求書等にTから始まる

13桁の事業者番号の記載が必要です。

この課税事業者であることの表明を

インボイスといいます。



2 : Aが免税事業者の場合

⇒ Bは売上時受取消費税全額を納めなければならない

令和5年10月1日から、事業者となるためには、登録複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度(適格請求書等保存方式)が開始されます。インボイス制度の下では、税務署長に申請して登録を受けた課税事業者である「インボイス発行事業者」(適格請求書発行事業者)が交付する「インボイス」(適格請求書等)の保存が仕入税額控除の要件となります。インボイス発行事業者は課税事業者にならなければ仕入税額控除を受けることができません。現在免税事業者の方は課税事業者となるためには、登録を申請する必要があります。課税事業者でなければ登録を受けることができません。

して、個人事業主等から反対の声が強くなりました。本年度の税制改正では時限措置や助成金等の補助制度が設けられています。気になる方は最寄りの税務署等までお尋ねください。なお、保険料は公益上の理由から消費税が賦課されていないため仕入税額控除の対象とはなりません。

自動車保険にはロードサービスがついています。内容もなかなか充実しており、万一の時に気配りのきいた制度との評判です。しかしこの保険を使用するには事前に保険会社の承認が必要となりますので、ご注意ください。

皆様は大数保険に加入しているとの認識が強いと思います。時間外に弊社に相談されてもどの会社にも加入しているのか? わからないで困ることもあります。さらに年によって保険会社が変わることもありますので、今年の加入保険会社を認識して頂く必要があります。また、ドライバーの方にロードサービスの番号を徹底してご案内することをお願い申し上げます。弊社でも車両ごとに加入証を改めて発行しますので、車両のダッシュボード等に解るように置くか認識できるようにしてください。

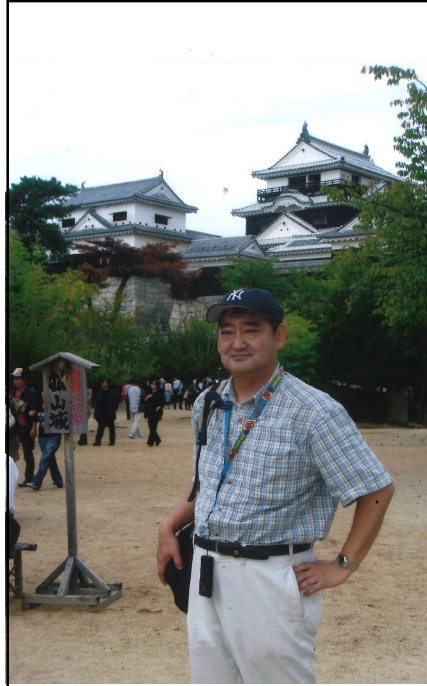
ロードサービス ご注意ください!!

主な弊社取扱い損保のロードサービス連絡先

- 東京海上日動火災 0120-119-110
- 損保ジャパン 0120-365-110
- あいおいニッセイ同和 0120-024-024
- CHUBB 保険 0120-011-313
- AIG 損保 0800-170-2202



歴史散歩道 お城巡りの語り編



写真：重要文化財だった頃の松山城と若き日の大藪

全国城郭管理者協議会では指定されている49のお城巡りは45までにきましました。それ以外の天守のない山城を含めれば100位は行ったと思います。でも全国には約3万5,000の城があるといわれていますので…。

古くから木造天守で現存するものは12あります。そのうち国宝は姫路・彦根・犬山・松本・松江の5つです。城郭も分かれます。なお、白のしつとくいは山城・平山城・平城・水城と分類され、天守も初期の楼閣を乗せたような望楼型と積み上げ型の層塔型があり、侵入者を防ぐ櫓形にたどり、侵入者を防ぐ櫓形にたどり着いて天守を見上げた時、この城の作られた目的や歴史が解ったような気がします。体が元気なうちにできる種類で年代も、堀の幅で弓だけ回りたいと思います。

お城豆知識

望楼型

望楼型天守は大きな人母屋造りの上に、望楼とよばれる物見やぐらに乗せた構造です。比較的初期の天守によく見られる形で、日本初の本格的な天守であった安土城天主も望楼型でした。上層の望楼は下層階や石垣の底面に関係なく好きな形にできるため層塔型に比べて豪華な印象になるのも特徴です。

層塔型

層塔型天守は一階から最上階まで順番に積み上げていくような形の天守です。下層から上層の形が同じで、上層に行くほど小さくなるのが特徴です。築城名人と言われた藤堂高虎が考案し、建築効率がよいと言われます。比較的新しいお城に多く見られます。名古屋城がまさにこれです。